HITACHI
Inspire the Next

自動車健康診断機能搭載 日立ダイアグモニタ

Diagnostic Monitor

HDM-8000

取扱説明書（保証書付）

発売元 日立オートモティブシステムズ株式会社

2015年6月作成 HDM-8000MN-000 Printed in Japan

もくじ

1. はじめに ……1
2. 安全上のご注意 ……1
3. ご使用前に ……2
4. 本製品の取り扱いについて ……3
5. 準備
    5.1. ユーザー登録 ……4
    5.2. 初期インストール ……5
    5.3. タブレット充電方法 ……8
    5.4. プリンタ接続方法 ……9
    5.5. 専用チェッカー登録方法……11
6. 基本的な機能と操作方法
    6.1. ルートメニュー ……12
    6.2. 新規車両登録 ……13
    6.3. 既存車両選択 ……14
    6.4. 健康診断シート作成 ……15
    6.5. 故障診断 ……18
    6.6. 故障診断データ比較 ……21
    6.7. カメラ撮影 ……22
    6.8. 写真 ……22
    6.9. 健康診断履歴 ……22
    6.10. タイムライン ……23
    6.11. 車両情報 ……23
    6.12. お客様情報 ……23
    6.13. 提案履歴 ……24
    6.14. 自社情報設定……24
7. アプリケーション更新方法 ……25
8. 製品仕様 ……27
9. 保証 ……28
    保証書

1. はじめに

このたびは、HDM-8000 をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、本紙をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになったあとは大切に保管してください。

「Wi-Fi」は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
「Bluetooth」は、Bluetooth SIG, Inc. USA の商標または登録商標です。
「Windows」は、Microsoft Corporation の、商標または登録商標です。
「Android」は、Google Inc. の商標または登録商標です。

2. 安全上のご注意

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
■ 本製品の故障、誤動作または不具合などによるお客様、または第三者が受けられた損害につきましては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

⚠警告	誤った取扱いにより、死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性や物的損害の可能性が想定される内容を示しています。

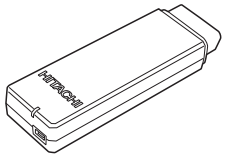
■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。
内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

	禁止 (してはいけないこと) を示します。
	分解してはいけないことを示しています。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。

3. ご使用前に

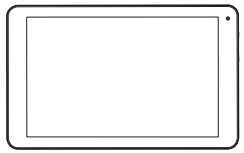
■ ご使用の前に、本製品の標準構成品が揃っていることを確認してください。

I/F ボックス箱

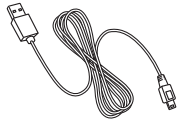


I/F ボックス本体

タブレット箱



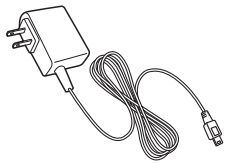
タブレット



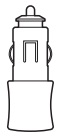
USB ケーブル

USB OTG ケーブル

タブレット箱

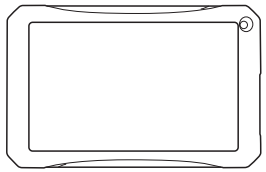


AC アダプタ

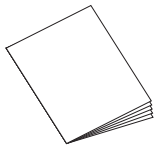


シガーチャージャー

その他



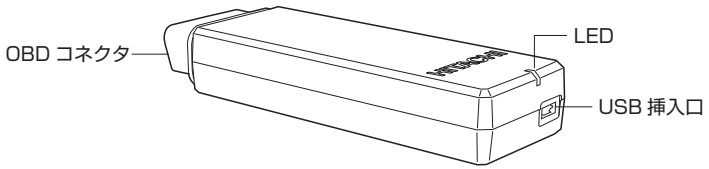
タブレットジャケット



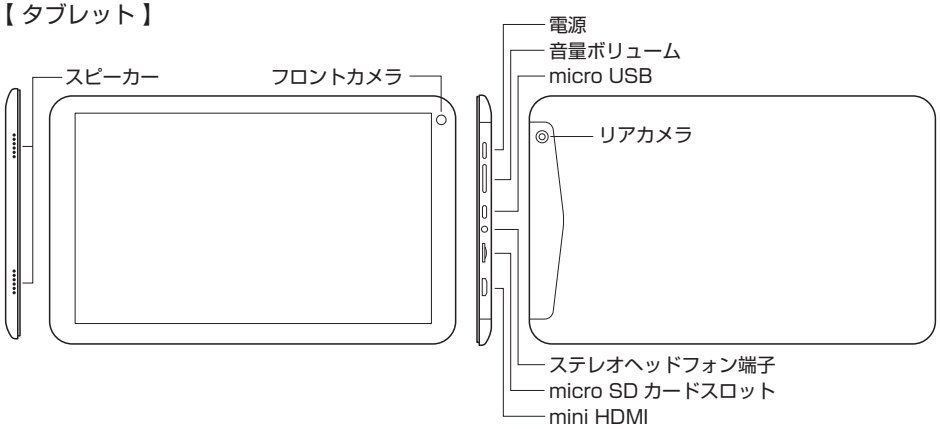
取扱説明書（本書）

■ 本体各部の名称

【 I/F ボックス 】



【 タブレット 】



4. 本製品の取扱いについて

⚠ 警 告

運転者は運転中にこの製品を使用しないでください。
・交通事故の原因となります。
・運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてから使用してください。

この製品を分解・改造しないでください。
・故障あるいは火災の原因となる場合があります。

この製品から煙が出る、異臭などの異常を認めた場合は直ちに車両から取外してください。
・火災の原因となる場合があります。

断線の恐れのあるケーブルは使用しないでください。
・故障あるいは火災の原因となる場合があります。

本体に供給する電源電圧は 32V 以下としてください。
・破壊、感電、発火する場合があります。

この製品を濡らさないでください。
・故障あるいは感電､火災の原因となる場合があります。

ケーブル接続部に異物を入れないでください。
・故障あるいは火災の原因となる場合があります。

⚠ 注 意

この製品を直射日光があたる場所や高温になる場所に置いたり、炎天下の車室内に放置したりしないでください。
・故障の原因となります。

この製品を使用しない場合は車両から取外してください。
・車両バッテリーの消耗および発火の原因となる場合があります。

ケーブルは指定品を使用してください。
・指定品以外を使用した場合、過電圧や接続不良などで破損や誤動作を招く場合があります。

ケーブルを本体に巻きつけないでください。
・故障またはケーブル断線の原因となります。
・使用しない場合はケーブルを取外してください。

この製品を落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。
・故障の原因となります。

エンジンオイル、ガソリン、不凍液及びバッテリー液を本体またはケーブルに付着させないでください。
シンナー、ベンジンなどの溶剤で拭かないでください。
・表面の変質及びケーブル断線の原因となります。

使用中、取外し時にケーブルを引っ張らないでください。
・断線、故障の原因となります。
・コネクタ部を持ち取外してください。

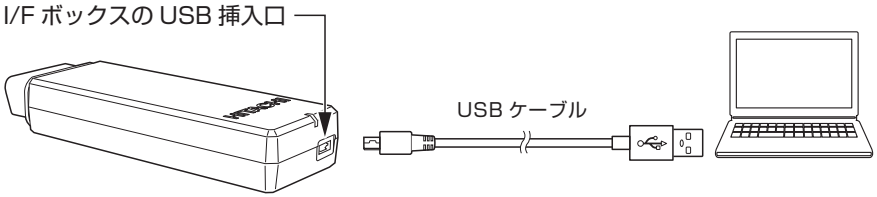
5. 準備

5.1. ユーザー登録

本機器を使用するためには、はじめにユーザー登録する必要があります。
下記の手順に従ってユーザー登録を行なってください。
また、ユーザー登録するためには下記のものが必要となります。

・Windows 7、8、8.1 がインストールされたパソコン
・インターネット環境
・メールアドレス

(1) インターネットに接続された Windows パソコンと I/F ボックスを付属の USB ケーブルで接続してください。



(2) I/F ボックスの LED が緑色点滅から赤色点灯に変化するまでお待ちください (15 秒程度)。

(3) I/F ボックスが Windows パソコンにリムーバブルディスク (HDM-8000) として認識されますので、そのドライブをエクスプローラで開いてください。

(4) 開いたドライブにある HDM8000Downloader.exe をダブルクリックして実行してください。HDM-8000 アップデートツール (HDM8000.exe) をサーバーからダウンロードし起動します。

(5) ユーザー登録画面でお名前、会社名、メールアドレス等を入力して【更新】ボタンをクリックしてください。

※ユーザー情報登録後は、HDM-8000 アップデートツールの起動画面で【編集】ボタンをクリックすることでユーザー登録画面を表示し、ユーザー情報を編集することができます。

(6) 認証確認メールが入力したメールアドレスに届きます。届いたメールアドレスにあるリンクをクリックしてください。リンクをクリックするとブラウザが起動します。
ブラウザに認証完了と表示されていればユーザー登録作業は完了です。

引き続き「5.2. 初期インストール」を参考にアプリケーションのインストールを行なってください。

5.2. 初期インストール

お買い上げいただいた状態では I/F ボックスおよびタブレットにはアプリケーションがインストールされていません。下記の手順に従って最新アプリケーションをインストールしてください。また、初期インストールするためには下記のものが必要となります。

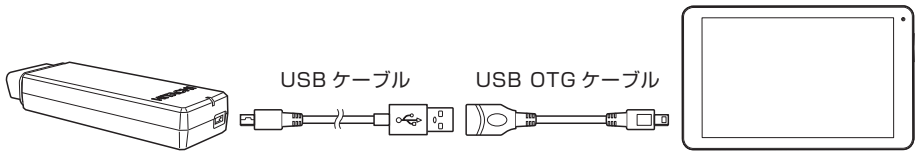
・Windows 7、8、8.1 がインストールされたパソコン
・インターネット環境
・HDM-8000 用タブレット (充電完了しているもの)

(1) HDM-8000 アップデートツールの【HDM8000 更新】ボタンをクリックしてください。
HDM-8000 サーバーから最新アプリケーションが I/F ボックスにダウンロードされます。

(2) ダウンロードが終わりましたらパソコンから I/F ボックスを取り外してください。

(3) タブレットの電源ボタンを押してタブレットを起動してください。

(4) タブレットが起動したら付属の USB OTG ケーブルをタブレットに挿入し、USB OTG ケーブルの USB 挿入口と I/F ボックスを付属の USB ケーブルで接続してください。接続が完了すると (15 秒程度)、タブレットの左上の通知領域に「SD カードの準備中」と数秒間表示されたあと、その表示が消えます。



(5) タブレットのアプリケーション一覧画面にある【File Manager】をタップして起動してください。

(6)【External USB storage】にある【HDMInstaller.apk】を選択します。
インストール中にインストール確認画面が表示されますので【インストール】をタップしてください。
インストール完了画面では【完了】をタップしてください。

(7) タブレットのアプリケーション一覧画面に【HDM インストーラ】ができていますのでそれをタップしてください。

(8) 画面の指示に従ってすべてのアプリケーションをインストールしてください。
インストール中にインストール確認画面が表示されますので【インストール】をタップしてください。
インストール完了画面では【完了】をタップしてください。

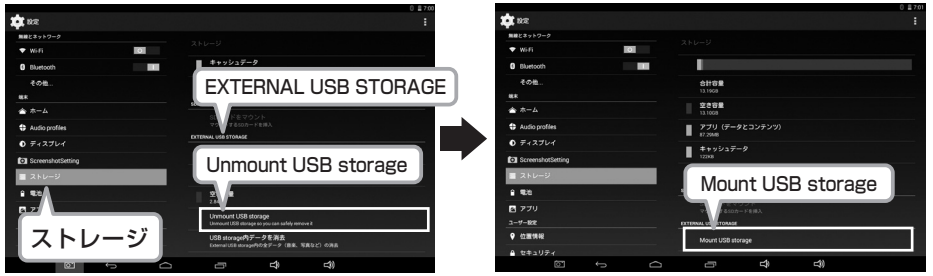
(9) 画面下にあるナビゲーションバーのホームボタン⌂をタップしてください。

下記のホームアプリ選択メニューが表示されますので、【HDM-8000 アプリ】を選んで【常時】をタップしてください。これでホームボタン⌂をタップすることで【HDM-8000 アプリ】が起動するようになります。

(10) タブレット画面の右上から下方向にスワイプして表示されるメニューから【設定】をタップしてください。

「スワイプ」とは
画面の最上部に触れた状態で、
下方向に滑らすことによって、
画面を引き出す操作のことです。

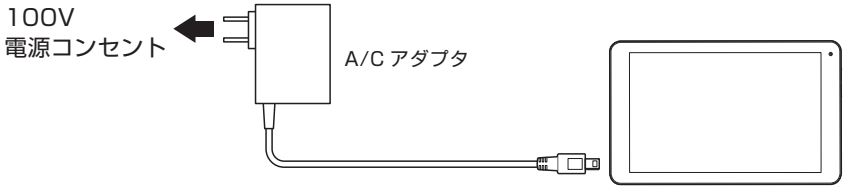
設定を起動後、画面左の【ストレージ】を選択し、【EXTERNAL USB STORAGE】の【Unmount USB storage】を選択してください。「Unmount USB storage?」確認画面が表示されるので【OK】をタップしてください。
しばらくすると【EXTERNAL USB STORAGE】の表示が【Mount USB storage】に変化しますので、タブレットから USB OTG ケーブルを I/F ボックスから USB ケーブルを取り外してください。



5.3. タブレット充電方法

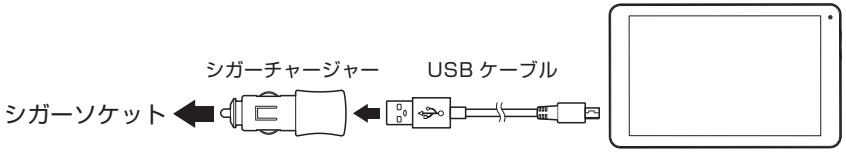
タブレットは付属の A/C アダプタまたはシガーチャージャーを用いて充電してください。

■A/C アダプタで充電する場合



(1)A/C アダプタの USB コネクタをタブレットに接続します。
(2)A/C アダプタを 100V 電源コンセントに挿入します。

■シガーチャージャーで充電する場合



(1) タブレットに付属の USB ケーブルを接続します。
(2)USB ケーブルの端子をシガーチャージャーの USB ポートに差し込みます。
(3) シガーチャージャーを車のシガーライターソケットに挿入します。
※シガーチャージャーで充電する場合、車両のエンジンをかけてください。

5.4. プリンタ接続方法

Wi-Fi ダイレクトに対応したプリンタに健康診断シートなどを印刷することができます。
印刷するためにはプリンタ用のプラグインがインストールされている必要があります。インストールされているプラグインは、タブレット画面の右上から下方向にスワイプして表示されるメニューから【設定】をタップし、表示される【設定】メニューから【印刷】をタップすることで確認できます。標準ではキヤノンとエプソン用のプラグインがインストールされています。

(1) プリンタの取扱説明書に従ってプリンタを Wi-Fi ダイレクトモード (アクセスポイントモード) に設定してください。設定した際に表示または印刷される SSID とセキュリティキーは以降の手順で使用します。

(2) タブレット画面の右上から下方向にスワイプして表示されるメニューから【設定】をタップしてください。

(3)【Wi-Fi】を選択します。Wi-Fi の設定が OFF ○ の場合、設定を OFF ○ から ON | に変更してください。

(4) 画面右の一覧から (1) で表示されたプリンタの Wi-Fi ダイレクトモード (アクセスポイントモード) 用 SSID を選択するとパスワード入力画面が表示されます。(1) で表示されたプリンタの Wi-Fi ダイレクトモード (アクセスポイントモード) 用のセキュリティキーを入力し、【接続】をタップしてください。

※ Wi-Fi ダイレクトモード (アクセスポイントモード) が WPS に対応しているプリンタの場合、タブレット Wi-Fi 設定画面の右上にある WPS マークをタップすることで簡単に接続できます。

WPS マーク

(5) Wi-Fi の接続が完了すると SSID の下が【接続済み】になります。

(6) タブレット画面の右上から下方向にスワイプして表示されるメニューから【設定】をタップしてください。

(7)【印刷】を選択します。対象プリンタ用メーカーの印刷サービスを選択し、画面右上のスイッチの OFF ○ から ON | に変更してください。ON にするとプリンタを自動的に検索し、見つかったプリンタが表示されます。

プリンタが表示されない場合は下記を確認してください。

・プリンタの電源が ON であること。

・プリンタが Wi-Fi ダイレクトモード (アクセスポイントモード) であること。

・タブレットとプリンタが Wi-Fi で接続されていること。接続されていれば【設定】の【Wi-Fi】で表示されるプリンタの SSID の下が【接続済み】になっています。

5.5. 専用チェッカー登録方法

バッテリーチェッカー、イグニッションコイルチェッカーなどのオプション専用チェッカーを HDM-8000 と連携して使用できるようにするためには Bluetooth のペアリングを行う必要があります。

詳細な接続方法については各専用チェッカーの取扱説明書を参照してください。

(1) タブレット画面の右上から下方向にスワイプして表示されるメニューから【設定】をタップしてください。

(2)【Bluetooth】を選択します。Bluetooth の設定が OFF ○ の場合、設定を OFF ○ から ON | に変更してください。

(3) 使用可能なデバイスが表示されるので、一覧から使用する専用チェッカーを選択します。
一覧に表示される名称はチェッカーにより異なります。
一覧に表示されない場合は下記を確認してください。
・各専用チェッカーの Bluetooth 設定を有効になっているかを確認してください。
・画面右上の【デバイスの検索】をタップしてもう一度 Bluetooth デバイスを検索してください。

(4)【Bluetooth のペア設定リクエスト】が表示されます。専用チェッカーによって表示される内容が異なります。
・パスキー (PIN) の入力が必要な場合は各専用チェッカー用のパスキー (PIN) を入力し【OK】をタップしてください。
・パスキーの確認が表示された場合は専用チェッカーとタブレットで同じパスキーが表示されていることを確認し【ペアを設定する】をタップしてください。

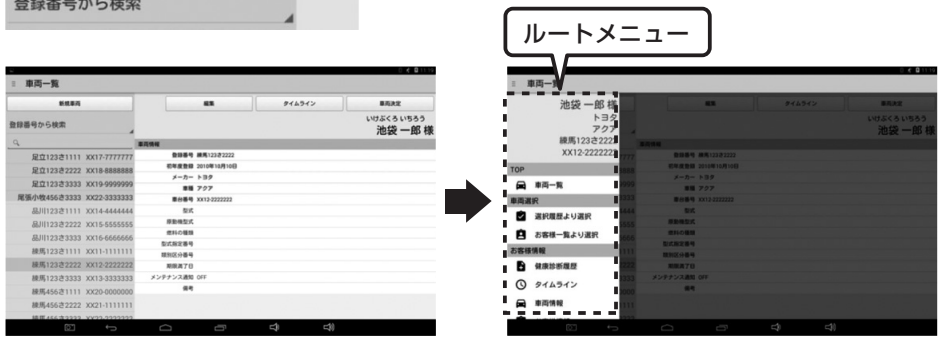
(5) Bluetooth の接続が完了すると【ペアリングされたデバイス】に専用チェッカーが表示されます。

6. 基本的な機能と操作方法

ナビゲーションバーのホームボタンを押し【HDM-8000 アプリ】を起動してください。

6.1. ルートメニュー

ルートメニューから実行したい項目を選択してください。
ルートメニューは【HDM-8000 アプリ】の画面左上のメニューマーク☰を押すと画面左側に表示されます。



6.2. 新規車両登録

新しい車両が入庫した場合、まず車両登録を行ないます。車両登録は車検証の QR コードを読み取ることで簡単に行なえます。

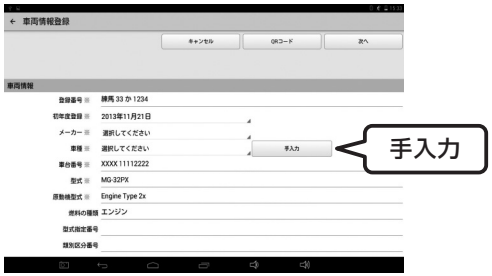
(1) ルートメニューから【車両一覧】を選択してください。

(2)【車両一覧】の【新規車両】ボタンを押してください。

(3)【QR コード読取りアプリ】が起動します。

画面に表示されている赤い枠線の中に車検証右下にある QR コードを写してください。
軽車両の場合 3 つを、普通車の場合右側 2 つを除いた右から 3 つ目から 7 つ目の 5 つが読込み対象となります。

(4) メーカー、車種をその他の情報を入力してください。
メーカー、車種は一覧から選択できます。車種について一覧にない場合は【手入力】ボタンを押すことで手入力が可能です。



(5)【次へ】ボタンを押すと登録が完了し、【健康診断履歴】に遷移します。

6.3. 既存車両選択

以前に登録した車両が入庫した場合は一覧から登録した車両を選択します。

(1) ルートメニューから【車両一覧】を選択してください。

(2)【車両一覧】の右側に登録済みの車両の一覧が表示されます。
登録番号 (数値のみで可) を入力し検索ボタン🔍を押すことで一覧から検索することができます。
検索対象を選択することで車体番号からも検索できます。

(3) 一覧から対象車両を選択すると画面右側に詳細情報が表示されます。

(4)【車両決定】ボタンをタップすると車両を決定し、【健康診断履歴】に遷移します。

その他下記の方法でも車両を選択できます。

【選択履歴より選択】…… 最近入庫した車両一覧から選択する
【お客様一覧より選択】…… お客様からその所有車両を選択する

6.4. 健康診断シート作成

(1) I/F ボックスを車両 OBD コネクタに接続し、I/F ボックスの LED が緑色点滅から緑色点灯に変化するまでお待ちください (15 秒程度)。

(2) ルートメニューから【健康診断シート作成】を選択してください。

(3) エンジン暖機確認メッセージが表示されます。エンジンが暖機状態であることを確認後、【次へ】ボタンを押してください。

(4) 車種、エンジン型式等を選択する画面が表示された場合は、対象車両に合った項目を選択してください。

(5) 対象車両の全システムの DTC 点検およびエンジンのモニタデータを自動的に取得します。車両によって時間は異なりますが 10 分以上かかる場合もあります。

取得終了後、【健康診断シート作成】が表示されます。
全システムの DTC 点検の結果は、健康診断シートの【全 DTC】カテゴリに反映されます。
またエンジンのデータモニタの結果は【データモニタ】カテゴリに反映されます。

(6) 対象車両の走行距離を入力してください。

(7) バッテリーチェッカー、イグニッションコイルチェッカーなどのオプション専用チェッカーをお持ちの場合は、下記の手順で専用チェッカーのデータを健康診断シートに取り込んでください。

① タブレットと専用チェッカーを接続してください。初めて使用する場合は各専用チェッカーの取扱説明書の手順に従ってタブレットと専用チェッカー間の Bluetooth のペアリングを行なってください。

② 各専用チェッカーの取扱説明書の手順に従って測定対象であるバッテリーやイグニッションコイルなどを測定し、その測定データを送信してください。

③ 測定結果が健康診断シートの【チェッカー】カテゴリの下記項目に反映されます。

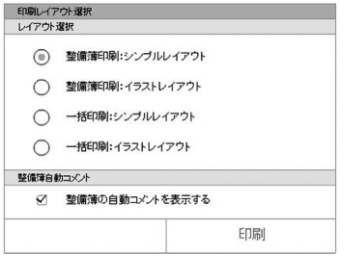
チェッカー	反映される健康診断シート項目
バッテリーチェッカー (バッテリーテスト)	バッテリーの状態
バッテリーチェッカー (システムテスト)	充電装置（オルタネータ）の状態 充電能力
イグニッションコイルチェッカー	イグニッションコイルの状態

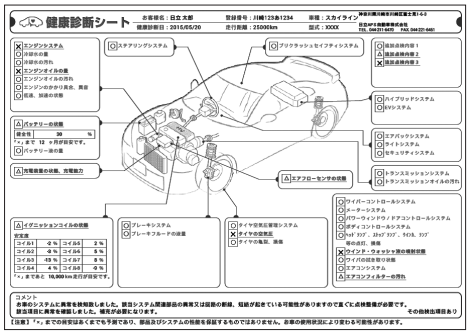
(8)【日常点検】カテゴリについて黄色になっているボックスを選択すると画面右側に「○」「×」および「クリア」が表示されますので対象車両の状態に応じて選択してください。

(9) 結果が「×」になった項目等について対応を行なった場合、真ん中の列のボックスを選択すると「修理」「交換」「その他」および「クリア」が表示されますので行なった整備内容に応じて選択してください。

(10) 全ての整備が終わった後、【最終点検実行】を選択するともう一度 (3) から実行されます。(3)～(9) の手順に従って再度点検を行なってください。

(11)【印刷】ボタンを選択すると【印刷レイアウト選択】が表示されます。



項目選択	説明
整備簿印刷	整備簿ページのみを印刷します。
一括印刷	整備簿、全 DTC、データモニタ、チェッカーページを印刷
シンプルレイアウト	下記のようなイメージで印刷します。
イラストレイアウト	下記のようなイメージで印刷します。 
整備簿の自動コメントを表示する	印刷時に健康診断結果に応じたコメントを自動的に付加する場合はチェックしてください。

(12) レイアウト選択後【印刷】をタップすると無線 LAN で接続されたプリンタに帳票が印刷されます。

【健康診断シート作成】で【保存】ボタンをタップするとデータが保存され、「6.9. 健康診断履歴」で現在の状態から再開することができます。

6.5. 故障診断

(1) I/F ボックスを車両 OBD コネクタに接続し、I/F ボックスの LED が緑色点滅から緑色点灯に変化するまでお待ちください (15 秒程度)。

(2) ルートメニューから【故障診断】を選択してください。

(3) 車種、エンジン型式等を選択する画面が表示された場合は、対象車両に合った項目を選択してください。

(4) 車両の接続に成功すると下記のようなメインメニューが表示されます。

診　　断：各システムの故障コード読取 / 消去、データモニタを実行するためにシステム選択メニューが表示されます。

作 業 サ ポ ー ト：各システムを検索し、作業サポートが実行可能なシステムの一覧を表示します。

アクティブテスト：各システムを検索し、アクティブテストが実行可能なシステムの一覧を表示します。

(5) メインメニューで【診断】をクリックすると診断対象を選択するシステム選択メニューが表示されます。メーカーによりシステム名称の表記は異なりますがエンジン、トランスミッション、エアバッグについては直接メニューから診断対象システムを選択することができます。上記 3 システム以外については全自己診断を実行し、その診断結果から各システムを選択することで診断可能です。

＜システム選択メニュー＞

＜全自己診断 診断結果＞

診断可能な項目についてはメーカー、システムによって異なりますが、システム毎に故障コード読取 / 消去、データモニタなどが診断できます。

(6)【故障コード読取】で各システムに記憶されている故障コードを表示することができます。

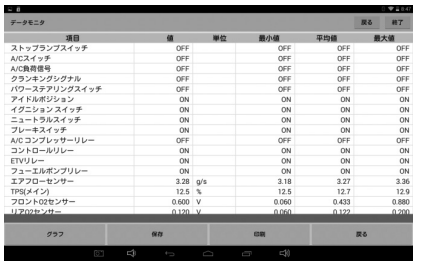
【保存】をタップすることで故障コードをファイルに保存し、後でタイムラインから再表示することができます。

(7)【故障コード消去】で各システムに記憶されている故障コード等を消去することができます。

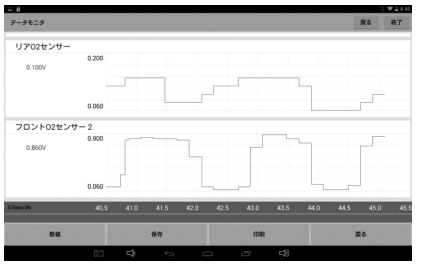
(8)【データモニタ】ではまず項目の左側をチェックすることでモニタしたい項目選択し、【開始】をタップしてください。

選択した項目に対して数値表示、グラフ表示を実行することができます。

＜数値表示＞



＜グラフ表示＞



【保存】をタップすることでサンプリングデータをファイルに保存し、後でタイムラインから再表示することができます。

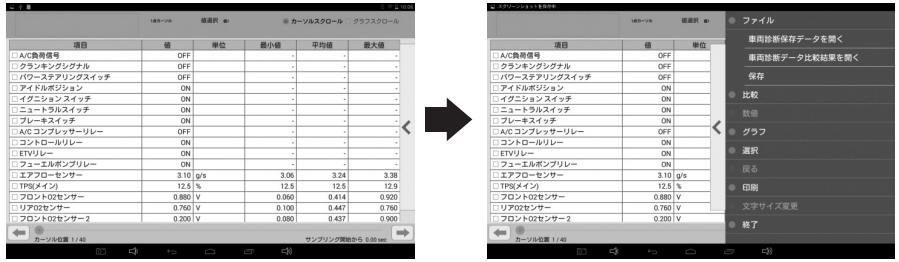
(9)【作業サポート】については項目によって操作方法はことなりますので、各画面の説明に従って操作してください。

(10)【アクティブテスト】については項目によって操作方法はことなりますが、下記の画面の場合、画面下部のスイッチを切り替えることで対象アクチュエータを強制駆動することができます。また駆動中にデータモニタ項目を表示させることができます。

6.6. 故障診断データ比較

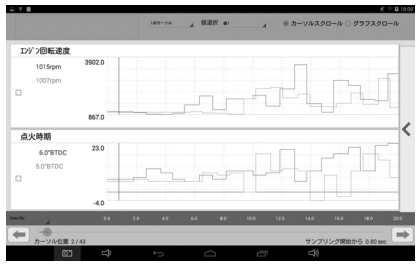
(1) ルートメニューから【故障診断データ比較】を選択し、メニューから【故障診断保存データを開く】を選択してください。タイムラインからデータモニタの保存データを選択することもできます。

(2) 上記の手順にてデータモニタ保存データを開いた状態で画面右の矢印マーク【<】をタップして表示されるメニューから【比較】を選択してください。



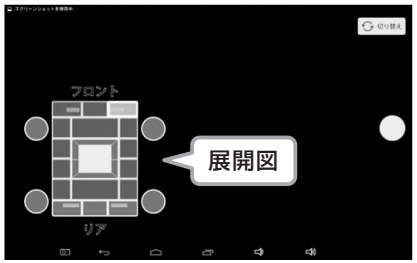
(3) タイムライン画面が表示されるので、その中から比較対象となる保存データを選択してください。

(4) グラフ表示や数値表示で複数のデータを比較することができます。



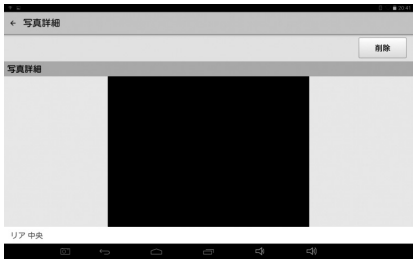
6.7. カメラ撮影

撮影した画像を選択中の車両と紐付けて管理することができます。
【切り替え】ボタンをタップすると車両の展開図が表示されます。撮影場所を選択して撮影すると撮影画像と展開図位置も紐付けて保存されます。



6.8. 写真

撮影した画像を再表示できます。



6.9. 健康診断履歴

前回に実施した健康診断シートの情報を表示します。

【新規作成】新たに健康診断シートの作成を開始します。

【通知設定】次回の入庫や部品交換の提案時期のアラートを設定します。

【履歴詳細】現在表示されている健康診断シート (前回実施した健康診断シート) を編集します。

6.10. タイムライン

いままで実施した健康診断や故障診断などの履歴や保存データを時系列に見ることができます。
また、各項目の【詳細表示】をタップすることでその時の保存データを表示したりすることができます。

6.11. 車両情報

車両情報を表示・編集することができます。

6.12. お客様情報

お客様の名前、電話番号、住所等の情報を表示・編集することができます。

6.13. 提案履歴

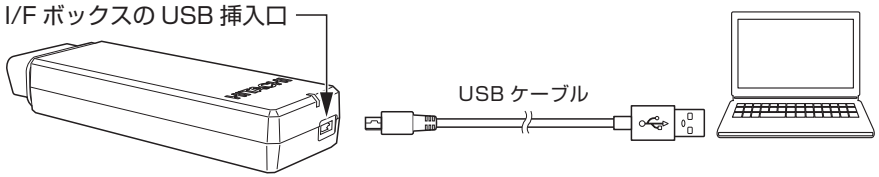
現在設定されている次回の入庫や部品交換の提案時期のアラートを一覧表示します。

6.14. 自社情報設定

お客様の会社名、電話番号、住所等の情報を設定します。

7. アプリケーション更新方法

(1) インターネットに接続された Windows パソコンと I/F ボックスを付属の USB ケーブルで接続してください。



(2) I/F ボックスの LED が緑色点滅から赤色点灯に変化するまでお待ちください (15 秒程度)。

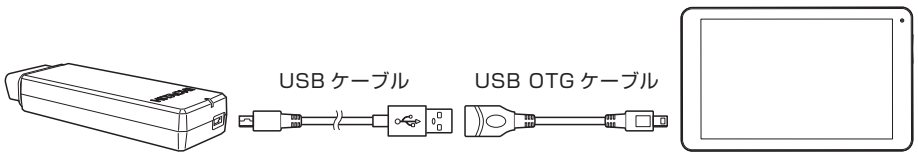
(3) I/F ボックスが Windows パソコンにリムーバブルディスク (HDM-8000) として認識されますので、そのドライブをエクスプローラで開いてください。

(4) 開いたドライブにある HDM8000.exe をダブルクリックして実行してください。HDM-8000 アップデートツールが起動します。

(5) HDM-8000 アップデートツールの【HDM8000 更新】ボタンをクリックしてください。HDM-8000 サーバーから最新アプリケーションが I/F ボックスにダウンロードされます。

(6) ダウンロードが終わりましたらパソコンから I/F ボックスを取り外してください。

(7) <USB 接続で更新する場合>
付属の USB OTG ケーブルをタブレットに挿入し、USB OTG ケーブルの USB 挿入口と I/F ボックスを付属の USB ケーブルで接続してください。接続が完了すると (15 秒程度)、タブレットの左上の通知領域に「SD カードの準備中」と数秒間表示されたあと、その表示が消えます。

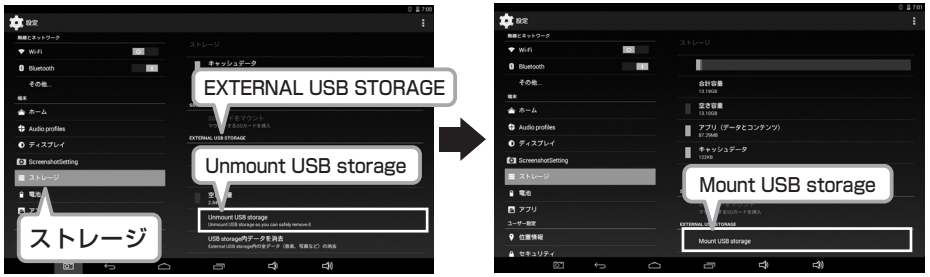


<Wi-Fi 接続で更新する場合>
I/F ボックスを車両 OBD コネクタに接続し、I/F ボックスの LED が緑色点滅から緑色点灯に変化するまでお待ちください (15 秒程度)。

(8)【HDM-8000 アプリ】のメニューから【アプリ更新】を選択します。

(9) HDM インストーラが起動しますので、画面の指示に従ってアプリケーションを更新インストールしてください。
各アプリケーションのインストール中に権限確認画面が表示されますが【インストール】をタップしてください。
また、インストール完了画面では【完了】をタップしてください。

(10) <USB 接続で更新した場合>
タブレット画面の右上から下方向にスワイプして表示されるメニューから【設定】をタップしてください。
設定を起動後、画面右の【ストレージ】を選択し、【EXTERNAL USB STORAGE】の【Unmount USB storage】を選択してください。「Unmount USB storage?」確認画面が表示されるので【OK】をタップしてください。
しばらくすると【EXTERNAL USB STORAGE】の表示が【Mount USB storage】に変化しますので、タブレットから USB OTG ケーブルを I/F ボックスから USB ケーブルを取り外してください。



<Wi-Fi 接続で更新した場合>
I/F ボックスを車両 OBD コネクタから取り外してください。

8. 製品仕様

<I/F ボックス>

項目	仕様
本体寸法	48.5mm(W)×148.0mm(H)×25.0mm(D)
本体質量	約 130g
本体電源電圧	DC10V～32V
消費電力	約 3W
使用温度	0～+50℃
保存温度	-20～+70℃
湿度	20～85%RH
車両通信	CAN、K-Line/L-Line、SAE-J1850 VPW/PWM、DDL1、三菱 DCT、その他 UART
USB	USB 2.0 OTG (microUSB)
Wi-Fi	IEEE 802.11 b/g/n (2.4GHz)
表示	通知用 LED：2 色発光 (赤 / 緑)

<タブレット>

項目	仕様
OS	Android 4.4
プロセッサ	MT8127, Quad Cortex-A7 1.3GHz
ディスプレイ	10.1 インチ 1280×800 ドット
ストレージ容量	16GB
システムメモリ	1GB DDR3
USB	microUSB
Wi-Fi	IEEE 802.11 b/g/n
Bluetooth	Bluetooth 4.0
ヘッドフォン	3.5mm ステレオヘッドフォン端子
カードスロット	microSD/microSDHC/microSDXC 最大 32GB
カメラ	フロント 30 万画素、リア 500 万画素 AF
バッテリー	6000mAh (バッテリー駆動時間 約 6 ～ 8 時間)
本体寸法	264.5mm(W)×164.5mm(H)×8.8mm(D)
本体質量	約 570g

9. 保証

注意事項に沿い正しく使用し故障した場合、無償にて修理を行ないます。

■ 保障期間はユーザー登録後１年間となります。

■ 保証期間は弊社規定方法により、ご購入後１ヶ月以内に正しくユーザー登録されている場合のみ有効です。
修理の際はお買い上げの販売店へユーザー登録情報を提示してください。

■ 本製品の故障または使用により生じた直接または間接の損害について弊社は一切の責任を負いません。

■ 修理品の発送や交通費などの諸掛りはお客様の負担となります。発送は、適切な梱包により受け渡しの確認が可能な手段で送付ください。

■ 次のような場合は保証期間内でも、保証の対象となりません。
- ユーザー登録情報の提示が無い、正しくない、改ざんが認められる場合。
- 火災・天災・塩害・ガス害・地震・落雷および風水害、その他天災地変あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障または損傷の場合。
- 輸送や移動時の落下など、取扱が不適当だったために生じた故障または損傷の場合。
- 規定の使用方法や注意事項に反する取扱いによって生じた故障または損傷の場合。
- 改造やご使用の責任に帰すると認められる故障または損傷の場合。
- 本製品に接続している弊社指定以外の機器に起因する故障または損傷の場合。
- 本体ケースなどの外装部品の交換。

■ 付属の USB ケーブル､USB OTG ケーブル、シガーチャージャーおよび個装箱は保証対象外となります。

■ 本製品は国内での使用を前提としています。
海外でのご使用については保証対象外とさせて頂きます。

お問い合わせ先

販売元　株式会社 日立オートパーツ＆サービス
http://www.hitachi-autoparts.co.jp/
〒210-0011　神奈川県川崎市川崎区富士見1-6-3
カスタマーサポートセンター　TEL.03-3527-6323

持込修理

保　証　書

本保証書は、左記保証規定内容により無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間内に万一故障が発生した場合は、本書を提示の上
お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
本書の再発行は行ないませんので紛失しないように大切に保管してください。

品　　名		日立ダイアグモニタ
機 種 名		HDM-8000
保証期間		お買い上げ日より１年（本体）
		お買い上げ日：　　年　　月　　日
お客様	お名前	様
	ご住所	
	お電話	
販売店	店名 住所 電話	

見本

販売店様へ

本保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。
贈答用、記念品の場合も含めて必ず記入捺印をしてお客様にお渡しください。

発売元　日立オートモティブシステムズ株式会社　市販事業部
〒210-0011　神奈川県川崎市川崎区富士見1-6-3